

情報

利便性の高い公式ラインを

情報発信の環境整備を

川口 須恵町公式ラインは、多岐に渡り情報を発信し、町民にとって大変利便性が高いツールと考えます。積極的に活用することで、住民への情報発信を強化、充実させることが必要ではないでしょうか。ラインの友だちに登録するメリットを教えてください。

まちづくり課長 防災、イベント、ごみ出しなどの通知機能、アンケートや募集の機能、確定申告などの簡易的な予約機能、チャットボットによるホームページへの誘導機能が御利用いただけます。

川口 ラインの友だち登録者のこの一年間の人数を教えてください。

まちづくり課長 一年間の登録者数は959人です。



答弁中の平松町長

川口 満浩 議員

川口 ラインの友だちの人数をどのように受け止めていますか。

まちづくり課長 登録者数は令和3年7月開始から順調に伸びていると思っています。

川口 ラインの友だち登録数を増やすために、どのような啓発活動を行っていますか。

まちづくり課長 各行政区および公共施設の掲示板、窓口封筒にQRコードを記載、転入者、確定申告者にチラシの配布「広報すえ」の最終ページやホームページでの友だち募集など啓発を行っています。

川口 ラインの友だち登録数を増やすため、商品券を配布するなどのキャンペーンを打ち出されてはいかがですか。

まちづくり課長 情報を充実させることが最優先と考えており、キャンペーンは今のところ考えていません。

川口 公式ラインへの登録の意義、また町民への情報発信のツールに対する考えをお聞かせください。



映像配信

子育て

学童保育の現状と今後の取組みは

臨機応変に対応

男澤 須恵町においては人口増加中で、学童保育の需要は増えてくるのではないのでしょうか。現在利用されている保護者から、施設が少し手狭との相談を受けました。各学童保育施設の定員数と現在の利用者数をお尋ねします。

男澤 来年度以降の利用者見込み数をお尋ねします。

子育て支援課長 来年度の新規受付は2月1日以降になりますので、新規の数は分かりません。見込みが立っているのは継続部分で、第一学童が78名、第二学童が87名、第三学童が44名の予定です。

子育て支援課長 11月1日時点で第一学童が定員数130名利用者95名、第二学童が定員数127名利用者96名、第三学童が定員数80名利用者58名となっています。

男澤 自治体によっては学童保育施設が足りず、放課後の学校施設を有効活用している自治体もあります。須恵町は検討する考えはありますか。

子育て支援課長 須恵町には空き教室が全くありません。学校施設を利用することは、極めて困難です。セキュリティの観点から、難しいのが現状です。

男澤 第二小学校に建設予定の6教室を学童保育にも活用できるように、設計の見直しを考へてはどうでしょうか。

学校教育課長 設計の見直しについては考えていません。

男澤 学童保育の今後の在り方を町長に伺います。

町長 サービスの充実、受入れ体制、先生の確保を考えたとき民営化が正しいと思っています。今後、須恵町はしばらく住宅の造成が進む可能性がありますが、将来的に足りなくなる前に学童保育を運営している法人にお願いして場所を考へてもらおうなど、町がある程度協力することで、臨機応変に対応させていただきます。



第三学童保育所



映像配信



男澤 一夫 議員

男澤 今後、現状施設の対応が厳しくなった時、民間の力を借りる考えはありますか。

子育て支援課長 本町では、公設民営

男澤 第二小学校に建設予定の6教室を学童保育にも活用できるように、設計の見直しを考へてはどうでしょうか。

学校教育課長 設計の見直しについては考えていません。



映像配信